

東映衛星放送株式会社

第 1 1 回番組審議委員会議事録

開催日時： 平成 2 7 年 8 月 2 6 日（水） 1 1 時 3 0 分～ 1 3 時

開催場所： コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

委員の出席： 委員の総数 7 名 出席委員数 5 名

出席者：

（番組審議委員）

星野岳志（委員長）、秋本鉄次、杉恭介、常見美佐子、赤城聡

（放送事業者側出席者）

代表取締役社長 香月純一

相談役 古玉國彦

編成営業部 部長 山本健太郎

業務部 次長 高村美穂

（以上 敬称略）

議題： 「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

放送事業者側出席者より、東映衛星放送（株）の現況、最近の市場環境、「東映チャンネル」の編成内容に関する説明ののち審議に入った。

<番組審議委員の発言>

1. メディアが多様化する中で、今秋にはNetflixが配信を開始する。配信ビジネスは概ね 500 円～1000 円程度で見放題なので、その中で 1,620 円の放送サービスが生き残るのは大変だと思う。配信プラットフォームは、地上波放送局などとコラボレーションしてオリジナルコンテンツの制作に力を入れている。今後は、グループ会社である東映ビデオ(株)とも連携し、オリジナルコンテンツの開発をしてほしい。CS独占権を獲得することなども検討してはどうか。
2. 「東映」と名の付くチャンネルなのだから、より東映ならではの独自性を高めることでユーザーの興味を喚起できると考えている。「ザ・東映レジェンド」などの新企画も始まっ

ているが、本企画に関しては、梅宮辰夫、佐久間良子、千葉真一、渡瀬恒彦など、まだまだ取り上げるべき俳優も多い。本企画を拡大・発展させ、当時のキャストやスタッフの生の声を拾う番組がもっとあってもよい。作品の制作当時を振り返るようなドキュメンタリードラマの制作なども検討してはどうか？

3. 東映チャンネルの認知度はかなり上がったのではないかと思うが、興味を持っているものの加入をしていない人もかなりいるはずだ。加入させるにはもうひと押しが必要だろう。スポーツ紙や雑誌で東映の任侠作品やアクション作品を紹介すると反響が大きいのが、それらをビデオレンタル店で見ようと思っても、置いていない場合が多い。これは逆に東映チャンネルにとっては大きなチャンスである。本や雑誌で紹介された作品は、見たい人も多いはずだ。出版計画などもチェックし、編成に活かしてほしい。
4. ビジネスチャンスを広げるには、スカパー！でのHD化は必須である。ブルーレイパッケージは値段が高い。高画質で録画したいユーザーにとって、HD放送はニーズが高い。
5. 今の若い人たちは、東映の任侠映画や時代劇を知らない。このままでは加入者も先細りになってしまう。東映太秦映画村とYouTubeがパートナーシップを結び、国内外のクリエイター向けに時代劇制作支援プログラムを提供しているが、例えば若いクリエイターに東映の時代劇を見てもらい、そのイメージ動画を制作してもらってYouTubeで流すなどしたらどうか？若い人や女性にも訴求すべきだ。

<事業者側の回答>

- ・(1. のCS独占権の獲得について)
放送作品の独自性も検討しつつ、同時に、チャンネルとしての総合的な魅力を高め、加入につなげたい。
- ・(2. ドキュメンタリードラマの制作について)
加入に結び付くかどうかとも勘案しながら検討したい。また、ドラマという形式ではなく、インタビューでも作品の魅力を紹介することはできるのではないか。
- ・(4. スカパー！でのHD化について)
HD化についてはコストに関する研究も重ねており、引き続き検討したい。
- ・(5. の若い人や女性に向けてのプロモーション施策について)
新たな視聴者層に向けてのプロモーション展開は、重要と考える。情報の発信方法については今後も議論を重ねたい。

以上